



しあわせ信州



長野県(木曽地域振興局)プレスリリース 令和4年(2022年)12月21日

令和4年 木曽地域 県政おもなできごと

令和4年中の木曽地域における『県政おもなできごと』を、次のとおり取りまとめました。

【通年】

☆新型コロナウイルス感染症への対応

令和元年末から世界中で感染が拡大している新型コロナウイルス感染症。

令和4年は従来のウイルスより感染力の強いオミクロン株が主流となり、年初から6月までの第6波、7月から9月までの第7波、10月以降の第8波と立て続けに感染拡大の波が到来し、陽性者が急増した一年でした。その中で、1月26日に長野県全域が「まん延防止等重点措置」適用区域に決定されたことを受け、木曽地域でも飲食店に対して翌日から3月6日までの間、営業時間の短縮を要請しました。

木曽保健福祉事務所では、県立木曽病院や木曽郡内の全ての診療所と協力し、感染者やその家族等への適切な療養生活の提供に努めてきました。また、感染拡大防止と重症化を防ぐ目的で受診・入院調整、高齢者施設等へのクラスター対策、ワクチン接種勧奨などを実施しました。

ワクチン接種については、追加接種及びオミクロン株対応型接種が、住民の皆さまのご理解と、町村や医療関係者の皆さまのご協力により実施されました。県では、合同庁舎やワクチンバスを使った県会場における接種を行いました。引き続きワクチン接種が円滑に行われますよう、皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

また、木曽地域振興局では、withコロナ時代における木曽地域の観光振興のため、中京圏の皆さまに木曽をより身近に感じてもらうために木曽観光連盟や関係する市町村、あるいは地元事業者にも協力いただき、名古屋市中区栄の地下街『サカエチカ』にて昨年度11月から実施している観光PR展示を今年度も継続して実施しました。

大河ドラマでも話題になった木曽義仲をはじめ木曽の特産品、あるいは旬のアクティビティ情報などを発信しました。



県民の皆さまには、引き続き感染を防止するための行動を実践していただきますとともに、感染が落ち着いている時期には、経済活性化にもご協力をお願いいたします。

【3月】

☆地元産木材をふんだんに！長野県林業大学校新学生寮が完成

長い林業の歴史を誇る木曽の地で、森林・林業を学ぶ学校を象徴する学生寮が完成しました。

新学生寮は木造2階建て、延床面積937.44㎡で木材使用量（寮棟）209.34㎡のうち、木曽地域材は195.31㎡と93.3%を占めています。

またゼロカーボン時代に適応する木質バイオマスボイラーを県有施設としては初めて導入し、木曽地域で生産されたチップを燃料として使用しています。



【5月】

☆しあわせ信州移動知事室（木曽地域）の開催

令和元年度以来、当地域では3回目の移動知事室が、5月19日、20日に開催されました。

阿部知事が、林業関係者、医療関係者、御嶽山関係者らとの意見交換、R3.8豪雨被災箇所の視察、御嶽山噴火災害犠牲者への献花等を行いました。



☆吉野小水力発電所で試運転を開始

県営中山間総合整備事業による吉野小水力発電所の建設工事が完成し、試運転を開始しました。

吉野小水力発電所は、水田をかんがいする農業用水を有効活用して発電を行い、地域の農業関連施設等の維持費を軽減し、農村地域における再生エネルギー資源の活用を推進します。



【6月】

☆地元高校生の木曽地域での就業を促進

将来を担う地元高校生の、木曽地域での就業を促進するため、地元企業の活躍や地元で働くことに関心を持ってもらおうと、6月2日に蘇南高校、7月29日に木曽青峰高校を会場に高校生向け企業説明会を開催しました。



☆「御岳県立公園」の国定公園化に向け動き出す

6月14日に、環境省により県立公園である御嶽山が国定公園化の候補地として選定され、それを受けて、同月18日に木曽町、王滝村及び公益財団法人 日本自然保護協会の主催により国定公園化に向けたシンポジウムが開催されました。国定公園になるとブランド力の向上や一層の環境保全が期待されます。



☆「木曾郡ふれあいスポーツ交流会」を開催

6月4日に木曾郡内に居住する障がい児・者がスポーツを通して交流の輪を広げ、健康の維持増進を図る「木曾郡ふれあいスポーツ交流会」を大桑村スポーツ公園にて開催しました。

郡内の子どもから大人までの22名が参加し、付添者や交流会スタッフらと一緒に軽スポーツやレクリエーションを楽しみました。



交流会は新型コロナウイルスの影響により3年ぶり、かつ令和4年度は県内10圏域の中で唯一の開催となり、参加者も久しぶりの交流会に笑顔を見せながら身体を動かしていました。

☆建設人材育成の取組

建設業の将来を担う若手技術者の育成・就労促進のため、長野県建設業協会木曾支部と協働し、木曾青峰高等学校の生徒を対象にCAD・測量等の現場実習を6月から10月にかけて計4回実施しました。また、長野県建設労働組合連合会と協働し、郡内中学1年生を対象とした木工体験授業を6月から8月にかけて計3回実施しました。



木造建築に関する講義を受講後、地元の大工技能士から鉋（かんな）や鋸（のこぎり）の扱い方の手ほどきを受け、椅子づくり等の実習を行いました。

生徒たちはプロの技に目を見張り、真剣な眼差しで取り組んでいました。

【7月～8月】

☆選挙の実施

7月10日に第26回参議院議員通常選挙、8月7日に長野県知事選挙が実施されました。木曾郡の投票率は、参議院議員通常選挙が70.6%（県平均：57.7%）、長野県知事選挙が63.73%（県平均：40.94%）と長野県平均と比較し高い投票率となりました。なお、両選挙とも学校訪問を通じた若年層に対する啓発や企業訪問、街頭啓発により積極的な投票の呼びかけを行いました。

【8月】

☆御嶽山ビジターセンターオープン

8月27日に、御嶽山を知り、火山を理解し、次世代につなげることを目的とした、長野県立御嶽山ビジターセンター「やまテラス王滝」と木曾町御嶽山ビジターセンター「さとテラス三岳」がオープンしました。



【9月】

☆起業塾を開催

地域活性化につながる起業を支援するため、木曽地域で起業を考えている女性・若者を対象に9月から10月まで起業塾（全3回）を開催しました。

これに併せて、より多くの方に起業に関心を持っていただくため、木曽町図書館と連携して起業関連図書を集めた展示を実施しました。



【10月～】

☆「木曽の伝統食材スタンプラリー」を実施

10月1日から令和5年1月31日まで、木曽の伝統食材（木曽牛、木曽産そば、すんき）を扱っている32店舗においてスタンプラリーを実施し、地域住民や訪れた観光客の皆さまへ木曽の魅力を発信しています。



【11月】

☆「第27回木曽地域シニア作品展」を開催

木曽地域のシニア世代が、知識・経験・特技を生かし、趣味として制作した作品の展示会を上松町ひのきの里総合文化センターで11月8日、9日に開催しました。

84名の個人・団体から219点の出品があり、2日間の入場者数は延べ270名と前年を上回り、大変盛況でした。

同時に、長野県シニア作品展の優秀作品の展示を行い、木曽郡内で入賞された方1名の表彰式を行いました。



【12月】

☆御嶽山シンポジウムを開催

御嶽山（2014）、箱根山（2015）、草津白根山（2018）で発生した水蒸気噴火を振り返り、火山防災への取組と課題を住民と行政、研究者が共有し、活火山と共生する地域づくりを推進することを目的としたシンポジウムを、12月16日、17日に開催しました。

木曽地域振興局 総務管理・環境課
（課長）兵藤 裕一（担当）岩野 健一
電話 0264-25-2211（直通）
F A X 0264-23-2583
E-mail kisocho-somu@pref.nagano.lg.jp

木曽保健福祉事務所 総務課
（課長）小口 秀昭（担当）太田 愛
電話 0264-25-2231（直通）
F A X 0264-24-2276
E-mail kisocho-somu@pref.nagano.lg.jp

木曽建設事務所 総務課
（課長）太田 晃生（担当）川口 和伸
電話 0264-25-2237（直通）
F A X 0264-22-4028
E-mail kisoken-somu@pref.nagano.lg.jp

林業大学校
（校長）丸山 勝規（担当）丸山 真一郎
電話 0264-23-2321（直通）
F A X 0264-21-1058
E-mail ringyodai@pref.nagano.lg.jp